

2022年6月19日 父の日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

6月19日 父の日礼拝		前奏	招詞	イザヤ書49章13節
		「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン		
会衆賛美	聖歌36	会衆賛美	主はぶどうの木	
主の祈り		交読	詩篇91篇1～9節	
礼拝祈禱		使徒信条		
聖書朗読	マルコの福音書			
説教	アバ、父よと呼べる幸い	14章32～36節		荻野泰弘牧師
会衆賛美	聖歌635	献金		
頌栄	聖歌376	祝祷		
報告				
後奏	感謝祈禱			

■聖歌36「ながまことは大いなり」

- ①ながまことは大いなり 頼む神は君のみ
変わらぬ なが愛の手に 支えらるる命ぞ

※ながまことは大いなれば 朝（あした）ごとに ほめうとう
恵み日々に豊かなり 御顔（みかお）つねに さやけし

- ②季節ごとに花ひらき 星は空の道ゆく
御神（みかみ）の手の くしわざを もの みな ほめ歌えり

- ③罪赦され 安きうけ 導き得て 喜び
ちからに満ち 悪に勝ち 糧（かて）は つねに ゆたけし

■「主はぶどうの木」 （※→★→※→★→※の順で歌う）

※主はぶどうの木 わたしは枝です いつも離れずに
主はぶどうの木 わたしは枝です 豊かな実を結ぶ

★みことばに留まり 愛に生きるなら
この世は知るでしょう 主の救いと 癒し

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 9 1 篇 1～9 節

- 1 いと高き方の隠れ場に住む者
その人は 全能者（ぜんのうしゃ）の陰に宿る。
- 2 私は主に申し上げよう。
「私の避け所 私の砦（とりで）
私が信頼する私の神」と。
- 3 主こそ 狩人（かりゅうど）の罟（わな）から
破滅をもたらす疫病（えきびょう）から
あなたを救い出される。
- 4 主は ご自分の羽であなたをおおい
あなたは その翼の下（した）に身を避ける。
主の真実は大盾（おおたて） また砦（とりで）。
- 5 あなたは恐れない。
夜襲の恐怖も 昼に飛び来る矢も。
- 6 暗闇に忍び寄る疫病（えきびょう）も
真昼に荒らす滅びをも。
- 7 千人が あなたの傍ら（かたわら）に
万人（まんにん）が あなたの右に倒れても
それはあなたには近づかない。
- 8 あなたはただ それを目にし
悪者への報いを見るだけである。
- 9 それは わが避け所 主を いと高き方を
あなたが自分の住まいとしたからである。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マルコの福音書 14章32～36節

- 32 さて、彼らはゲツセマネという場所に来た。イエスは弟子たちに言われた。「わたしが祈っている間、ここに座っていなさい。」
- 33 そして、ペテロ、ヤコブ、ヨハネと一緒に連れて行かれた。イエスは深く悩み、もだえ始め、
- 34 彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここにいて、目を覚ましていなさい。」
- 35 それからイエスは少し進んで行って、地面にひれ伏し、できることなら、この時が自分から過ぎ去るようにと祈られた。
- 36 そしてこう言われた。「アバ、父よ、あなたは何でもおできになります。どうか、この杯をわたしから取り去ってください。しかし、わたしの望むことではなく、あなたがお望みになることが行われますように。」

■聖歌 635 「父なる神の恵みは」

- ①父なる神の恵みは かぎりなき海ぞ
ともづなを ときて沖へ こぎいでて 見よや

※沖へいでよ 岸を離れ 主の恵みのただ中へ いざこぎいでよ

- ②世の人は 岸に立ちて 沖をば 見るのみ
主の恵みの 深さなど あえて知らんとせず

- ③ある者は わずかこぎて 遠く乗り出さず
かえる波に のまれたり 船と もろともに

- ④乗りいだせ 沖を指して 恵みの うしおの
瀬（せ）に流されて すべてを 主に まかすまでは

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」